

地域資源を活用した脱炭素化検討事業報告

町では2050年ゼロカーボンを目指す地球温暖化対策実行計画を策定するために学識者や事業者、町民、行政からなる協議会*1を立ち上げ、二酸化炭素排出量推計、削減目標の検討、再生可能エネルギーのポテンシャル調査、脱炭素社会のシナリオの検討などを行いました。

1. 協議会での意見の合意内容とまとめ

① 再生可能エネルギーの導入

- 2030年度には1,677トン、2050年度には5,114トンの二酸化炭素削減を目指す

② 省エネルギー機器への買い替え、節電

- 2030年度には4,884トン、2050年度には8,751トンの二酸化炭素削減を目指す

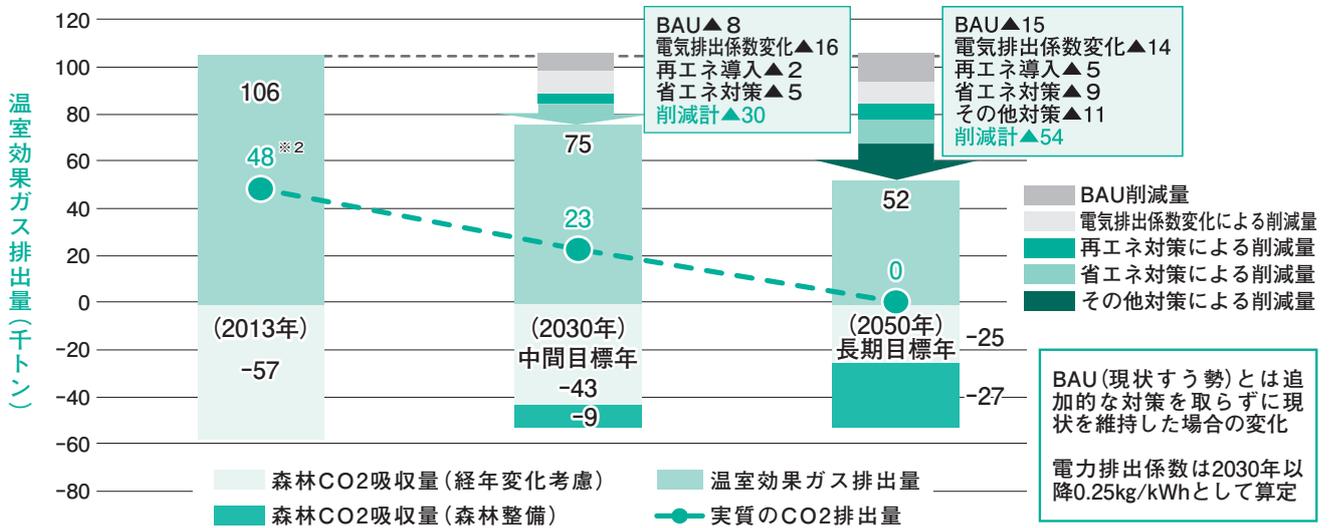
③ 住民や企業の行動変容

- 資源循環の促進や環境教育の充実化、フロン対策、町の率先した取り組みで2050年度までにさらに11,000トンの二酸化炭素削減を目指す

④ 積極的な森林施業

- 整備保全により2020年度と同じ二酸化炭素吸収量51,984トンの維持を目指す

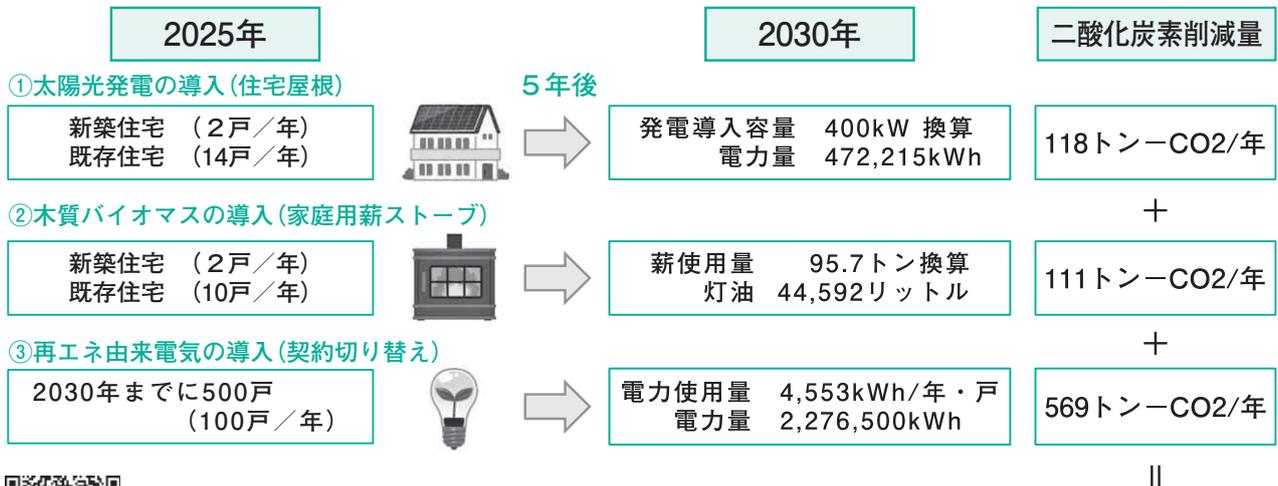
小坂町の2050年までの温室効果ガスの削減目標



※1 小坂町地域資源を活用した脱炭素化検討協議会は座長の柴山敦教授(秋田大学大学院国際資源学専攻)と9名の委員で構成し7/29、10/7、12/16に開催
※2 広報8月号P4の図では2013年の森林吸収量変化(樹齢)の推計前であったため2013年の差引きを53千トンと記載

2. 再生可能エネルギーの導入目標

2030年度までに1. ①再生可能エネルギーの導入による二酸化炭素1,677トンの削減を達成するための導入検討案です。町の公共施設での対策や企業の努力だけでなく、町民のみなさまによる取り組みも重要です。



排出量推計やポテンシャル調査、事業者へのヒアリングなどの詳細については町ホームページに掲載の報告書をご覧ください
<https://www.town.kosaka.akita.jp/machinososhiki/chominka/chominseikatsuhan/1/2690.html>